

# 東京レインボープライドのブースで 「労働なんでも相談」を出展！

セクシュアルマイノリティが差別や偏見にさらされることなく、より自分らしく、前向きに生きていくことができる社会の実現を目指すイベント「東京レインボープライド」。全国ユニオンでは、そのレインボープライドの主な取り組みのひとつで、東京の代々木公園で5月6～7日に開催される「フェスタ」に「労働なんでも相談」のブースを企画しました。

しかしブース設置、さらに事前の勉強会……さまざまな費用が発生するなどことから、取り組みの社会的に意義を含めて、連合に相談しました。連合ではイベントへの協賛を決定、さらにブース出展などの費用面の負担に加え、ゆるきゃら『ユニオニオン』も登場、連合で作成したパンフレットの配布も用意していただきました。さらに日本労働弁護団もバックアップ、会員の弁護士さんも常駐しました。

しかし、当日はまさにお祭り（フェスタ）。ステージ横で大音響が迫り、波のように人が押し寄せる中、初日の相談は3件に止まりました。しかし、2日目は相談が14件に急増。2日間で合計17件の相談が寄せられました。1件は労働相談ではありませんが、セクシュアルマイノリティならではの相談として、以下の3件を紹介します。

【性的指向：男性／性自認：女性／出生時に割り当てられた性：女性】

①氏名を変更済み。会社で変更前の名前を通称として使用することに問題はないか、②父に氏名を変更したことを伝えていない。遺書があるようだが、効力はどうなるのか、③結婚したいと思っている人（男性）に子どもがいる。結婚したら相続はどうなるのか。

【性的指向：？／性自認：女性／出生時に割り当てられた性：男性】

社長にだけトランスジェンダーであることを伝えていたが、他の人も知っていた。不安だ。

【性的指向：女性／性自認：女性／出生時に割り当てられた性：女性】

同性のパートナーと同居しながら安心して働ける職場環境を実現したい。

